NEXNET

# 自動通報インターフェイス

（NERSW0001）

## 取扱説明書

Ver.1.0.1A

---

自動通報インターフェイス の詳細と価格は 無線機のトーワ 検索

モトローラ無線機 プレミアディーラー
株式会社トーワ
towà

http://www.towa-inc.net/
http://www.towa-inc.net/1f/5f/gm3188-o.htm

本　社
〒583-0991　大阪府南河内郡太子町春日98－362
tel 0721-98-1317 fax 0721-98-1373
mail@towa-inc.net

日本橋ショウルーム
〒556-0005　大阪市浪速区日本橋4－17－9
tel 06-6632-5115 fax 06-6632-5110

## ≪目次≫


●はじめに……3

●ご使用になる前に……5

●梱包内容のご確認……5

1．各部の名称……6

2．基本設定……7
- (1) 自動通報メッセージ発報モードの設定 (SW1)……7
- (2) 無線機の選択 (SW2)……8
- (3) 入力モード (A接点/B接点) の設定 (SW2)……8
- (4) ユーザーメッセージの録音方法 (SW2)……8
- (5) キャリアセンス機能設定 (SW2)……10

3．接続……12

4．入力メッセージレベルの調整……13

5．スピーカ音量の設定……13

6．操作方法……14
- (1) 電源スイッチ……14
- (2) 無線 (音声) 通話……14
- (3) 通報メッセージの発報……14
- (4) 通報メッセージの発報停止……15
- (5) テストメッセージの発報……16
- (6) テストメッセージの発報停止……16

7．自動通報インターフェイス用語……17

8． アフターサービスについて……19

## ●はじめに

この度はNEXNET『自動通報インターフェイス（NERSW0001）』装置をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
本書は『自動通報インターフェイス』装置のご使用方法を説明した取扱説明書です。
ご使用の前に必ずお読み頂き、正しくお使い下さい。

【ご注意】

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁じます。
- 本書に記載の製品仕様に関しては、予告なしに変更することがあります。
- 使用中のご不明な点やお問い合わせは、お買い求め頂いた販売店までご連絡下さい。
- 本書の乱丁、落丁はお取替えいたします。

【安全上のご注意】

※ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので「警告」「注意」の二つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。
※本文中の絵表示の意味は次のようになっています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | 誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

### ⚠警告

◎爆破区域及び爆発性のある危険地帯
爆破区域内及びその可能性のある危険地帯における自動通報インターフェイスの使用は、爆発物引火の危険性をともなうので、使用しないで下さい。

◎爆発の危険性がある大気状態
爆発性ガスなど大気状態に爆発の危険性がともなう区域では、自動通報インターフェイスを使用しないで下さい。

自動通報インターフェイス構成機器、あるいは、その付属品によりスパークが発生し、爆発を誘発する危険性があります。

危険区域には、石油コンビナート、船舶のアンダーデッキ、燃料や化学物質の輸送･貯蔵施設、穀物や粉塵、金属粉などの微粒子や化学物質が空気中に含まれている区域などが含まれます。

## ⚠ 注意

◎本製品は指定された電源電圧で正常に動作するように設計されています。電源については必ず付属の AC アダプタをお使いになり、正しく配線されますようお願いいたします。

◎火災･感電･けがの原因となりますので本製品の分解･改造及び修理は行わないで下さい。本製品の修理はお買い求め頂いた販売店までご連絡下さい。

◎直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所、または直接雨や水のかかる場所に本体を設置しないで下さい。故障の原因となる場合があります。
また、濡れた手で本体を操作しますと内部が腐食して故障の原因となる場合がありますので取扱いには十分に気をつけて下さい。

◎接続端子に金属片等が触れないようにして下さい。ショートによる火災や故障の原因になる場合があります。

◎付属品取り付けについて
付属品はお買い求め頂いた販売店にご相談のうえ正しく取り付けてご使用下さい。

◎ 本製品に強い衝撃を与えないで下さい。

## ●ご使用になる前に

「自動通報インターフェイス」は、各種センサー等無電圧接点出力をもつ外部機器と接続し、その情報を音声メッセージとして無線機を介して発報する装置です。
本機器は自動通報を行なう装置ですが、接続する簡易業務用無線は、共用波（一つ又は複数の周波数を複数の免許人で利用する）にて運用を行なうため、混信防止のキャリアセンス機能[1]が搭載されています。
本機能により、外部機器から発報信号を受け取っても、即時に発報できない（遅延する又は送信されない）場合がございます。[2] 補助装置として運用いただけますようお願い申し上げます。

## ●梱包内容のご確認

本製品には以下の製品が同梱されておりますのでご確認下さい。万一欠品がございましたらお買い求め頂いた販売店までご連絡下さい。

【標準構成品】

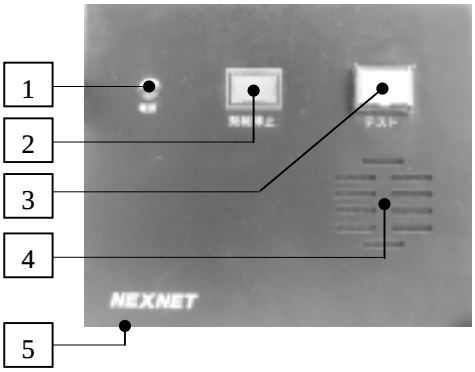
- 自動通報インターフェイス本体 （NERSW0001）
- AC アダプタ （NECBL0008）
- 無線機接続ケーブル（GM3188/3688 用） （NECBL0009）
- 外部機器接続ケーブル （NECBL0010）
- マイクハンガ （0702293P02）
- 取扱説明書（本書）

※表紙写真掲載のモトローラ社製ポテトマイク（JMMN1001）は標準構成品ではありません。
GM3188/GM3688 付属のポテトマイク（JMMN1001）をご利用下さい。

[1] キャリアセンス機能の詳細につきましては、自動通報インターフェイス用語(P.17)をご参照下さい。
[2] 詳細については「キャリアセンス機能とモード設定による運用上の注意」（P.10）をご参照下さい。

## 1. 各部の名称

**本機前面**




1 電源ランプ

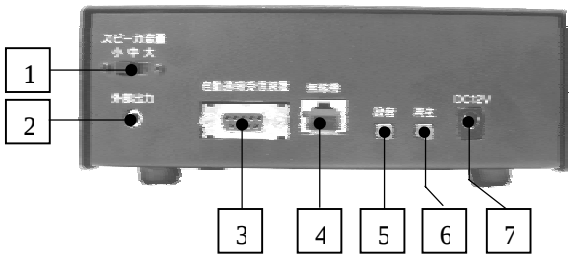
2 発報停止ボタン

3 テスト発報ボタン

4 スピーカ

5 マイクコネクタ

**本体背面**




1 スピーカ音量調整スイッチ

2 外部出力端子

3 自動通報受信装置接続端子

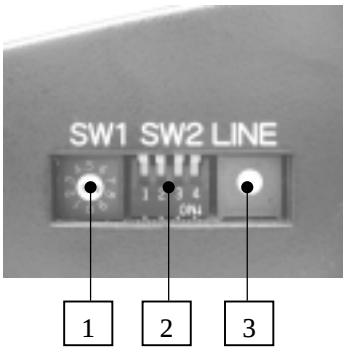
4 無線機接続コネクタ

5 録音ボタン

6 再生ボタン

7 AC アダプタ接続コネクタ

**本体右側面**




1 SW1（モード選択スイッチ）

2 SW2（機能選択スイッチ）

3 LINE レベル調整ボリューム

## 2. 基本設定

モトローラ無線機及びセンサー等外部機器を接続するための設定項目です。
本体右側面のスイッチ(SW1 及び SW2)にて切り替えを行ないます。
尚、スイッチの設定は下記の順番で行なって下さい。

(1) 自動通報メッセージ発報モードの設定(SW1)

本機器には 4 種類の自動通報発報モードが用意されております。お客様で運用されるモードにより、SW1 にて設定を切り替えて下さい。
切り替えは SW1の設定を1から4の値で行います。[3]

①モード1 ：SW1-1
12 秒間のデフォルト録音メッセージ送出モード：
センサー等外部機器からの発報信号入力を受けた後、12 秒間無線機を送信状態にし、本装置に内蔵されている警報音及び録音メッセージ(ファン、ファン、ファン 異常を感知しました 確認願います。 ×2回)を無線機に出力するモードです。

②モード2 ：SW1-2
12 秒間のユーザー録音メッセージ送出モード：
センサー等外部機器からの発報信号入力を受けた後、12 秒間無線機を送信状態にし、本装置から出力されるユーザー録音メッセージ[4]を無線機に出力するモードです。

尚、モード2に仮メッセージとして地震警報用の警報音及び録音メッセージ(ファン、ファン、ファン 地震がきます。注意して下さい。 ×3回)が録音されています。

※本モードではユーザー録音メッセージに先立って警報音“ファン、ファン、ファン”が2秒間送出されます。本警報音は削除することはできません。

[3] SW1-5 から SW1-0 は使用いたしません。
[4] ユーザー録音メッセージの録音方法は、ユーザーメッセージの録音方法(P.8)を参照下さい。

**③モード3　:SW1-3**
**20秒間の外部メッセージ送出モード:**
**センサー等外部機器からの発報信号入力を受けた後、20秒間無線機を送信状態にし、センサー等外部機器から出力される音声をそのまま無線機に出力するモード。[5]**

**④モード4　:SW1-4**
**60秒間の外部メッセージ送出モード:**
**センサー等外部機器からの発報信号入力を受けた後、60秒間無線機を送信状態にし、センサー等外部機器から出力される音声をそのまま無線機に出力するモード。[6]**

**(2) 無線機の選択(SW2)**

**SW2－1オフ　:GM3188/3688選択(右図)**
**(デフォルト設定:上段)**
**SW2－1オン　:使用不可**

GM3188/3688設定時

**(3) 入力モード(A接点/B接点)の設定(SW2)[7]**

**接続されるセンサー等外部機器の接点仕様に合わせ、選択して下さい。**
**SW2－2オフ　:A接点(ノーマルオープン)**
**(デフォルト設定:上段)**
**SW2－2オン　:B接点(ノーマルクローズ)(右図)[8]**

B接点設定時

**(4) ユーザーメッセージの録音方法(SW2)**

**本機にはお客様にて通報したいメッセージを録音し、そのメッセージを警報音とともに発報することができるユーザー録音メッセージ送出機能(モード2)が搭載されております。**

---

[5] キャリアセンス機能の設定により、送信時間が短縮される場合があります。詳しくは「キャリアセンス機能とモード設定による運用上の注意」(P.10～P.11)をご参照下さい。
[6] キャリアセンス機能の設定により、送信時間が短縮される場合があります。詳しくは「キャリアセンス機能とモード設定による運用上の注意」(P.10～P.11)をご参照下さい。
[7] A接点/B接点の詳細につきましては、６.自動通報インターフェイス用語 (P.18)の説明をご参照下さい。
[8] B接点接続される場合、注意事項がございますので、６.自動通報インターフェイス用語 (P.18)の「B接点接続時の注意」をご参照下さい。

**録音は、本体のマイクロホン端子より、下記2つの方法で行なうことができます。**

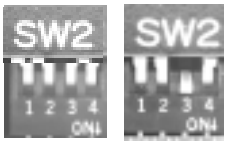
**①モトローラ社製ポテトマイク（JMMN1001）を使用して行なう方法**
**②パソコンとマイクロホン端子を接続し、パソコンに録音されている音声を録音する方法**

**※録音を行なった場合、以前録音されていたメッセージは消去されます。**

**【録音及び内容の確認方法】**

**①モトローラ社製ポテトマイク（JMMN1001）を使用して行なう方法**

**1）SW2－3をオン（下段）に切り替える　（右図）**

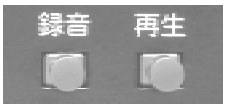


録音不可　録音許可

**2）マイクの送信ボタン（PTT）を握り、保持する（無線機送信状態と同じ操作を行なって下さい）**

**3）本体背面部にある録音ボタンを押し、録音を開始する（12 秒間）**[9]

**4）録音終了後、本機背面部にある再生ボタン**[10]**を押し、録音内容を確認する**[11]



録音ボタン　再生ボタン

**5）確認終了後、SW2－3をオフ（上段）に戻す**

**※本スイッチ（SW2－3）が録音許可設定（オン：下段）にされていると、システム稼動状態になりません。録音作業後は、必ずスイッチ設定をオフ（上段）にして下さい。**

**尚、デフォルトメッセージ及びテストメッセージを変更することはできません。**

---

9　録音開始ボタンを押した 12 秒後、発報停止ボタンが点滅し、録音終了を知らせます。

10　再生ボタンは、SW1-2（モード 2 :12 秒間のユーザー録音メッセージ送出モード）に録音されているメッセージを確認する専用の再生ボタンです。本体右側面の SW1 のモード設定位置にかかわらず、再生ボタンを押すと SW1-2（モード 2）に録音されているメッセージが再生されます。また再生中に再生ボタンを押すと、再生が中止されます。

11　録音を再度行なう場合は、②の作業から繰り返して下さい。

②パソコンとマイクロホン端子を接続し、ＰＣに録音されている音声を使用して録音する方法

※パソコンに録音されている音声を本機に入力する場合、専用のケーブル等が必要です。お買い求め頂いた販売店にご相談下さい。

(5) キャリアセンス機能設定 (SW2)
SW2－4オン　:キャリアセンス動作オン (右図)
(デフォルト設定)

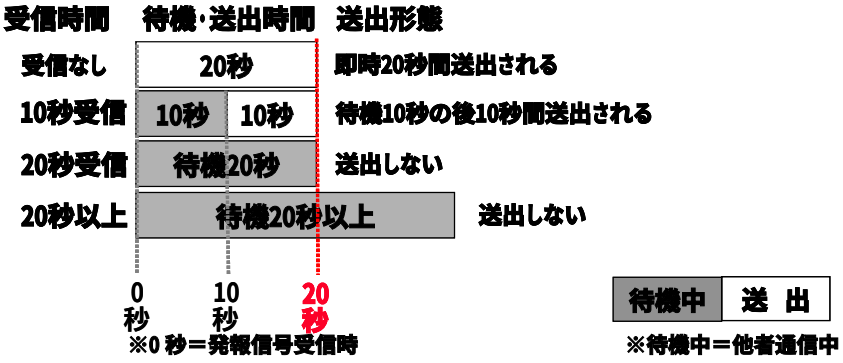
キャリアセンス動作オン

※本モードは無線機より本装置に対して出力されるキャリアセンス信号を検出して動作します。 従いまして、本機能を使用するためには無線機よりキャリアセンス信号が出力される必要があります。

**※キャリアセンス機能とモード設定による運用上の注意**
キャリアセンス機能設定と自動通報発報モード設定が下記の組み合わせの場合、送信時間が短縮される、又は送信されない場合があります。

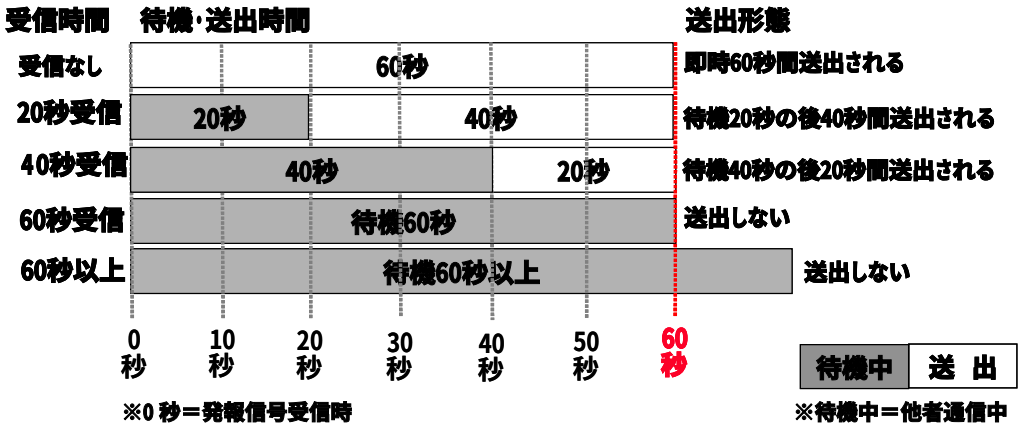
**① キャリアセンス動作オン＋モード3設定時**
**② キャリアセンス動作オン＋モード4設定時**
以下の図を参考に適切な設定を選択して下さい。

**①キャリアセンス機能オン＋モード3設定時:**
他者の通信を受信していない場合　⇒送出時間は 20 秒 (最大)
他者の通信を 10 秒受信した場合　⇒送出時間は 10 秒
他者の通信を 20 秒以上受信した場合　⇒送出しません



**②キャリアセンス機能オンでモード4設定時:**

他者の通信を受信していない場合　⇒送出時間は 60 秒 (最大)
他者の通信を 20 秒受信した場合　⇒送出時間は 40 秒
他者の通信を 40 秒受信した場合　⇒送出時間は 20 秒
他者の通信を 60 秒以上受信した場合　⇒送出しません



## 3．接続

### ⑴ 機器本体と付属のケーブル類の接続

**本機器と標準構成品として同梱されている付属ケーブル等の接続は、下記写真を参考に接続して下さい。**

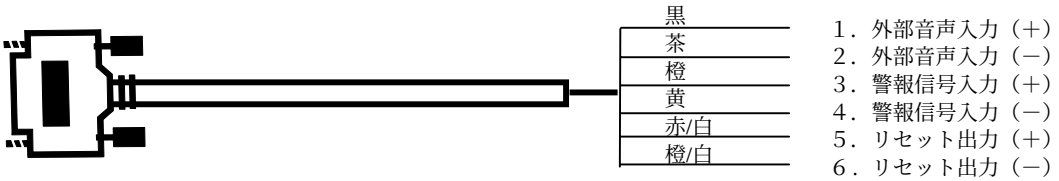
外部機器接続ケーブル　無線機接続ケーブル　　AC アダプタ

### ⑵ 外部センサー機器と外部機器接続ケーブルの接続

**外部センサー機器等との接続は、外部センサー機器の取扱説明書等を参照の上、正しく接続して下さい。**

**外部センサー機器と接続する外部機器接続ケーブル（NECBL0010）の信号名は下記のとおりです。**

外部機器接続ケーブル（NECBL0010）




※本ケーブル接線のリセット出力（＋）及びリセット出力（－）は、外部機器との接続を待受け状態に戻すリセット信号送出用接線です。

## 4. 入力メッセージレベルの調整

外部センサー機器等からのメッセージ出力レベルによっては本装置にて入力レベルの調整を行う必要があります。
外部センサー機器等をメッセージ送出状態とし、無線機からの送出音声が適正レベルとなるように、LINEレベル調整ボリュームを調整します。

LINE レベル調整ボリューム

## 5. スピーカ音量の設定

本装置には 1 ワットのスピーカが内蔵されています。
本スピーカにて自動通報メッセージをモニタすることができます。
本スピーカ出力レベルは3段階（小、中、大）に設定できます。
本体背面の再生ボタンを押し[12]、適切な出力レベルに設定して下さい。

スピーカ音量調整スイッチ

又、本装置には外部スピーカ出力端子が装備されています。本端子にスピーカケーブルを接続することにより、内蔵スピーカが切り離され外部スピーカ出力（固定：1Vp-p）が出力されます。

外部出力端子

※本端子はスピーカを直接駆動することはできません。必ずアンプ付きスピーカ（入力インピーダンス１０ｋΩ以上）を使用して下さい。

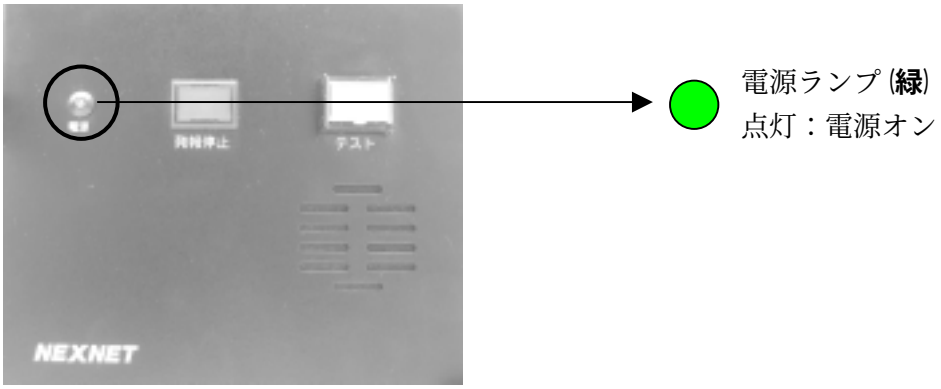
設定項目は以上です。

[12] 再生ボタンを押すと、本体右側面の SW１のモード設定位置に関係なく、SW1-2（モード２）に録音されているメッセージがスピーカより出力されます。

## 6. 操作方法

### (1) 電源スイッチ

本装置には電源スイッチはありません。ＡＣアダプタを本装置に接続することにより、本装置は通常待機状態となります。
電源が入ると本体上部の電源ランプが点灯 (緑色) します。




### (2) 無線 (音声) 通話

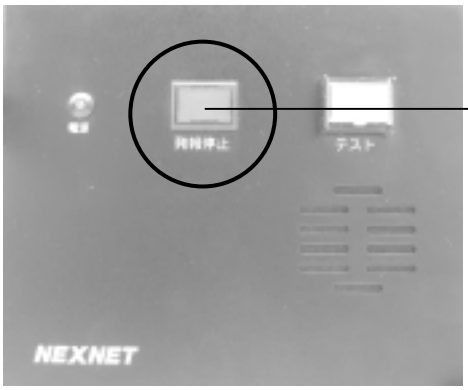
マイクをハンガーから外し、マイクを口から約 5cm 位離して持ち、送信ボタン (PTT) を押し話して下さい。送信が終わったら、送信ボタンを放します。あとは繰り返し通話して下さい。

※受信中はキャリアセンス機能がはたらき、送信できない場合があります。無線機本体の受信ランプが消灯していることを確認のうえ、送信して下さい。
※受信音声はインターフェイス装置のスピーカより出力されません。移動局無線機等からの受信音声は無線機のスピーカから出力されます。
※無線機にて送信を行っている時に、自動通報機能が動作 (緊急信号を外部機器から受信) した場合、自動通報機能を優先させて送信を行ないます。

### (3) 通報メッセージの発報

センサー等外部機器から発報信号を受けた場合、発報表示 LED (赤) が点灯し、SW1により選択されたモードにて無線機より自動的に通報メッセージを送出し、その音声が内蔵スピーカより出力されます。
メッセージ送出が終了すると発報表示 LED (赤) を消灯させ、無線機の送信を停止すると同時に、外部機器に対して発報信号解除信号 (リセット信号) を出力し待機状態に復帰します。

**※キャリアセンス動作中はキャリアセンス機能が働き，発報待機状態（発報表示 LED（赤）が低速点滅）となる場合があります。**




発報停止ボタン
（発報表示 LED（赤）兼用）
点灯：発報中
点滅：発報待機中

**（4）通報メッセージの発報停止**

**本装置に装備されている発報停止ボタンを押すことにより、メッセージの送出を停止させることができます。**

**本発報停止ボタンは以下の動作を行います。**

**①発報中に発報停止ボタンを押すと発報表示 LED（赤）が高速点滅し、自動通報メッセージが停止され、60 秒間の無線通話優先モード[13]に入り、無線（音声）通信が可能となります。**

**②上記無線通話優先モード中に再度、発報停止ボタンを押すと発報表示 LED（赤）が消灯し、無線機の送信を停止すると同時に、外部機器に対して発報信号解除信号（リセット信号）を出力し、待機状態に復帰します。**

**③発報待機中[14]に発報停止ボタンを押すと発報待機動作を終了すると同時に、外部機器に対してリセット信号を出力し、待機状態に復帰します。**

発報停止ボタン
（発報表示 LED（赤）兼用）
高速点滅：無線通話優先モード

13 無線通話優先モードは 60 秒間マイク PTT のみが有効となるモードです。60 秒経過し、無線通話優先モードが終了すると無線通話優先モードは解除となり、外部機器に対して発報信号解除信号（リセット信号）を出力し、待機状態に復帰します。

14 受信中のため、キャリアセンス機能により自動通報機能が待機している状態

**(5) テストメッセージの発報**

**本装置に装備されているテストボタン(緑色)を押すことにより、テストメッセージを発報することができます。**
**この操作を定期的に実行することにより本機器と無線機が正常に動作しているか確認することができます。[15]**
**なお、本メッセージは12秒後に終了します。**

テスト発報ボタン
（テスト発報表示LED（緑）兼用）
点　　灯：テスト発報中
低速点滅：テスト発報待機中

**※受信中はキャリアセンス機能がはたらき、テスト発報待機状態となります**
**無線機本体の受信ランプが消灯していることを確認のうえ、テスト発報を行って下さい。**
**※テスト発報を行っている時に、自動通報機能が動作(緊急信号を外部機器から受信)した場合、自動通報機能を優先させて送信を行ないます。**

**(6) テストメッセージの発報停止**

**メッセージ発報を途中で停止する場合は、再度テストボタンを押します。**

**操作方法は以上です。**

[15] 本装置ではセンサー等外部機器及び本装置との接続ケーブルの状態を判断することはできません。センサー等外部機器を含むシステム動作試験を定期的に行うことにより機器の状態の確認を行って下さい。

## 7．自動通報インターフェイス用語

### ≪キャリアセンス（搬送波検知）機能とは≫(P.5)

混信防止機能のひとつ。
キャリア（搬送波）を受信していることを検出することにより、自分が発射しようとする周波数・チャンネルが空いているか否かを検知する機能です。

簡易業務用無線の運用は、共用波（一つ又は複数の周波数を複数の免許人で利用する）にて運用を行なっております。
自分が送信している際、同じ周波数にて他者が送信してしまうと混信を受け、通話ができなくなる場合があります。反対に、他者が送信している周波数で自分が送信してしまうと混信をあたえ、他者の通話を妨害することになります。

キャリアセンス機能とは、これらの混信を防止するため、送信しようとしている周波数が空いている場合は電波を送信でき、また、他者が利用している場合は、電波を送信できないように制御する機能です。

センサー等外部機器より発報信号を受信した場合でも、無線機に設定した周波数とチャンネルが利用されていた場合（混信及び妨害波含む）、キャリアセンス機能によりチャンネルが空くまで、発報は待機状態となります。故障ではございません。

## ≪A 接点・B 接点とは≫ (P.8)

A接点とは、接点が閉となったら異常とする電気回路の開閉点。
「信号が入力されたときに接点がつながり（閉）、自動通報を行なう」、「ボタンを押した時に接点がつながり（閉）、通報を行なう」等。ノーマルオープン(NO)、又はメーク接点とも呼びます。

B接点はA接点と逆の動作で、接点が開となったら異常とする電気回路の開閉点。
「通常閉まっているドアや門が開いた時に接点が離れ（開）、通報を行なう」、「防犯センサーが張られている入り口を人が通過しセンサーを遮ると接点が離れ（開）、通報を行なう」等。ノーマルクローズ(NC)、またはブレーク接点とも呼びます。

センサー等外部機器の仕様により、接点出力方法が異なりますので、その機器の仕様に合わせ、本機器の接点入力モードを切り替える必要があります。

**B 接点接続時の注意：**
**B 接点による接続を行なった場合、接続したセンサー等外部機器の電源が停電などにより切断される、また接続しているケーブルが外れたり、断線したりした場合、接点が離れ（開）、自動通報機能がはたらき、メッセージが断続的に繰り返し送信されます。あらかじめご注意下さい。**

## 8．アフターサービスについて

⑴ 保証期間は、お買上日より1年間です。

⑵ 修理を依頼されるとき

《保証期間中》

正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、お手数ですがお買上の販売店へご連絡下さい。当社修理規定に基づき、無償で修理いたします。

《保証期間を過ぎているとき》

お買い上の販売店にて修理（有料）いたしますのでお問い合わせ下さい。

⑶ アフターサービスについてご不明な点は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い求めの販売店へお問い合わせ下さい。

お買い求めの販売店をご記入下さい。

お客様が保証をお受けになる重要な窓口です。必ずご記入下さい。

ご購入日　　年　月　日

MEMO

※本システムの使用に当たっては、免許申請が必要となります。
※製品仕様は改良のため予告せずに変更することがあります。あしからずご了承下さい。
※本製品を使用することにより発生した金銭上の損害及び遺失利益について、第三者からのいかなる請求についても、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

NEXNET

ネクスネット株式会社

カタログ等のお問合せは ―― 0120-549-533
本社 ―― 東京都品川区東品川 4-10-27
西日本営業所 ―― 大阪市港区岡元町 3-7-10
ホームページ ―― URL http://www.nexnet.co.jp

発行元 ネクスネット株式会社
2008 年 3 月発行